

人権シンポ in かながわ

2023年
11/19
(日)



会場

神奈川県弁護士会館・横浜情報文化センターホール
CはZoomのみ、FはZoomによる参加も可能です ● 参加無料



A 10時00分(9時30分開場) / 横浜情報文化センター6階ホール

【上映会】「凍りついた魂 袴田巖に襲いかかった死刑えん罪」

【講演】「袴田事件 誤判原因と再審公判の現状」

小川 秀世さん(弁護士・静岡県弁護士会 / 袴田事件弁護団事務局長)



小川 秀世さん



B 10時00分(9時30分開場) / 弁護士会館5階

【講演】「あなたのバトン、つなげます！～寄付・遺贈のススメ」

堀越 芳乃さん(国境なき医師団日本アドボカシー・医療渉外チーム 渉外担当シニアオフィサー)



堀越 芳乃さん



C 10時30分 / Zoomウェビナーのみ

【講演】「食糧危機と日本の貧困」

鈴木 宣弘さん(東京大学教授)



鈴木 宣弘さん



D 12時30分 / 弁護士会館5階

神奈川県弁護士会人権賞贈呈式



E 14時00分 / 弁護士会館5階

【講演】「1923年9月、横浜で何が起きたのか～関東大震災時の虐殺と現在」

山本 すみ子さん(関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会代表)

鄭 栄桓さん(明治学院大学教養教育センター教授)



山本 すみ子さん



F 14時00分 / 弁護士会館4階及びZoomウェビナー

【講演】「ネイチャーポジティブのための社会デザイン
—生態系サービスと「手入れ」の視点から」

及川 敬貴さん

(横浜国立大学都市科学部教授・日本評論社「人新世のエコロジー」著者)



及川 敬貴さん



鄭 栄桓さん



●10時00分～12時00分 横浜情報文化センター6階ホール (定員 239名)

上映会「凍りついた魂 袴田巖に襲いかかった死刑えん罪」

講演「袴田事件 誤判原因と再審公判の現状」

死刑えん罪事件の被害者・袴田巖さん。「犯人」として長期拘留され、「確定死刑囚」として48年の独房生活を送り、2014年再審開始決定とともに解放されました。上映会「凍りついた魂 袴田巖に襲いかかった死刑えん罪」は、その重い現実の痕跡を、姉の袴田ひで子さんをはじめとする各関係者へのインタビューを通して明らかにしてゆくドキュメンタリーです。上映会をご覧いただいたあとは、現在実際に袴田事件に関わっておられる弁護士の小川秀世さんの視点から、誤判はなぜ起きたのか、袴田さんの再審が今どうなっているのか等についてお話しさせていただきます。上映会と講演でえん罪と誤判・再審について考えてみましょう。

●10時00分～12時00分 弁護士会館5階 (定員 100名)

講演「あなたのバトン、つなげます！～寄付・遺贈のススメ」

この社会の様々な課題を解決するために活動している団体に直接参加できなくても、あなたの財産を通じて支援してみませんか。国境なき医師団の活動や戦時のルールと言われる人道法に関するご講演のほか、他団体も複数ご紹介いたします。弁護士による遺贈の解説も行ないます。

●10時30分～12時00分 Zoomウェビナー (定員 500名)

講演「食糧危機と日本の貧困」

現在の日本の食糧の多くは輸入に頼っていると言っても過言ではない。そのため、他国が輸出量を減らした場合や他国が輸入競争に参加した場合、日本は他国に買い負け食糧危機に陥る可能性が高い。このような食糧危機の影響を最初に受けるのは貧困の課題を抱える世帯である。このような現状にどのように向き合うべきか。日本の食糧危機と貧困の観点からお話しさせていただきます。

●12時30分～13時30分 弁護士会館5階 (定員 100名)

神奈川県弁護士会人権賞贈呈式

神奈川県内で人権侵害に対する救済活動、人権思想の普及確立のための活動、その他人権擁護のための活動をされた個人・団体に人権賞を贈呈します。表彰状の贈呈のほか、受賞者から受賞の挨拶をいただきます。

●14時00分～16時30分 弁護士会館5階 (定員 100名)

講演「1923年9月、横浜で何が起きたのか～関東大震災時の虐殺と現在」

今年は関東大震災から100年の節目の年です。当時横浜でも数多くの朝鮮人などへの虐殺が起きました。しかし近年これを否定する意見も出てきています。私たちは改めて身近な地域で起きた虐殺の事実とその背景を学び、今このようなヘイトクライムを起こさないために、どうしたらいいのか考えたいと思います。ぜひご参加ください。

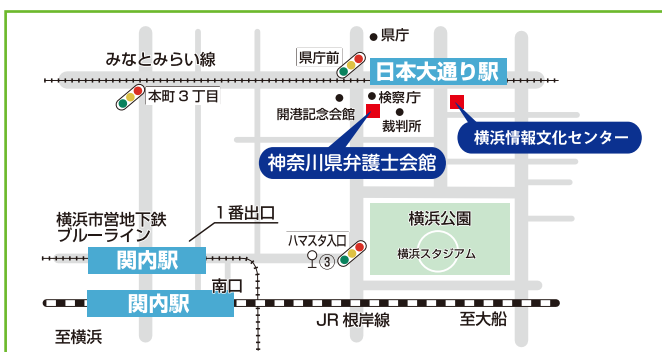
●14時00分～16時00分 弁護士会館4階 (定員 50名) Zoomウェビナー (定員 500名)

講演「ネイチャーポジティブのための社会デザインー生態系サービスと「手入れ」の視点から」

環境が人権の基盤であることを再確認する企画です。人間と自然との関係性について新たな視点を紹介し、生物多様性、里山、湿地などの意義や可能性を考察します。横浜国立大学・川敬貴教授による講演と、公害・環境問題委員会による発表等。「自然は大切なので守ろう」の掛け声や「SDGs」の題目だけでは見えてこないことに、切り込みます。

※会場参加は先着順、事前申し込み不要です。

※各企画のZoomウェビナーは「第11回人権シンポinかながわ」のホームページからログインしてください。



会場案内

神奈川県弁護士会館 横浜市中区日本大通9番地

横浜情報文化センター6階情文ホール 横浜市中区日本大通11番地

第11回人権シンポinかながわホームページ

<https://www.kanaben.or.jp/news/event/2023/sympo2023.html>

※最新の情報はホームページでご確認ください

